

“子どものため”の授業づくり

わたしたちは、子どもたちの「人格の完成」をめざし、すべての教育活動の中でひとりひとりの発達を保障したいと考えています。なかでも教科の学習においては、発達段階に即して内容を選び、系統的に教えていく授業づくりを大事にしています。その一方で、急速に進む情勢のなかで、何を・何のために教えるかといった授業づくりの本質を見失いそうになることもあります。

来年度からは新しい学習指導要領が全面実施され、それに伴って新しい教科書での授業も始まります。わたしたちは今、授業でどんな力をつけていくことが真の“子どものため”になるのかを、あらためて問い直そうとしています。授業づくりにおいて、今だから手離してはいけないもの、変える必要があるものを、みなさんと一緒に考え合いたいと思います。ぜひたくさんご参加ください。

○日時 2020年2月1日（土）

○会場 奈良教育大学附属小学校
〒630-8301
奈良県奈良市高畑町 奈良教育大学構内
(奈良交通バス「高畑町」バス停下車)
☎0742-27-9281



○日程

8:30 8:50 9:35 9:45 9:55 10:00 10:45 11:00 12:30 13:30 15:30

受付	公開授業	移動	参観の視点	移動	研究授業	移動	教科別分科会	昼食	全体会 基調提案と講演
----	------	----	-------	----	------	----	--------	----	----------------

○申し込み Faxかe-mailで、2020年1月24日（金）までにお申し込み下さい。

- ・Faxをご利用の場合は、裏面の申込用紙にて送信してください。【Fax：0742-27-9283】
 - ・e-mailをご利用の場合は、本校のホームページ（<http://www.nara-edu.ac.jp/ES/index.htm>）から申込用紙をダウンロードしていただき、【e-mail：fusho-kenkyu@nara-edu.ac.jp】宛に、件名を「研究会参加申込」として、添付送信して下さい。
- ※当日申し込みもできますが、資料に限りがありますので、できるだけ事前にお申し込み下さい。

○資料代 2,000円（学生・院生は1,000円） ※実践集代金を含みます。

○後援 奈良県教育委員会
各市町村教育委員会（奈良市・大和郡山市・生駒市・天理市・桜井市・宇陀市・山添村
伊賀市・木津川市・精華町・相楽東部広域連合）

○協賛 附属小学校PTA・つめくさ会（附属小学校教育後援会）

【裏面に、地図とFax用申込票があります。】

公開授業 8:50～9:35

	クラス	教科	授業者	題材
1	1年1組	音楽	磯田 由香	『11ぴきのねこ』より 井上ひさし・作詞 青島広志・作曲
2	1年3組	算数	今井 勇人	10をこわすひき算
3	2年2組	生活	多田 桃子	バスのうんてん手さんのおしごと
4	2年3組	音楽	水谷 礼佳	オペラ『ヘンゼルとグレーテル』より『こうしておどる』 フンパーティング・作曲
5	3年2組	国語	加川 陽子	『モチモチの木』 斎藤隆介・作
6	4年2組	理科	小野田 悠希	豆電球の明るさ
7	5年1組	家庭	平野 江美	おやつづくり
8	5年2組	国語	菱井 一宏	『雪わたり』 宮沢賢治・作
9	6年1組	体育	井上 寛崇	ハードル走
10	6年3組	理科	勝原 崇	電気の利用
11	特別支援学級	ことば1G	北村直子・久保智	（みんなで動作化できる絵本）
12	特別支援学級	ことば2G	池田翼・大野晶子	（くりかえしのやりとりのある絵本）
13	特別支援学級	ことば3G	猪澤 由起子	（やりとりのある絵本）

参観の視点 9:45～9:55 研究授業のねらいや参観していただきたい視点などをお伝えします

研究授業 10:00～10:45

	教科	クラス	授業者	題材
A	国語	4年3組	鈴木 啓史	『ごんぎつね』 新美南吉・作
B	社会	6年2組	河野 晋也	経済の発展と公害の発生
C	算数	4年1組	大谷 陽子	面積
D	理科	3年1組	井上 龍一	じしゃくの性質
E	音楽	1年2組	増村 里美	『11ぴきのねこ』より 井上ひさし・作詞 青島広志・作曲
F	図工	2年1組	吉川 奈緒	物語の絵『ゆうひのしずく』 あまんきみこ・作
G	家庭	5年3組	鈴木 晴香	おやつづくり
H	体育	3年3組	草川 雄太郎	走り幅跳び

教科別分科会 11:00～12:30 研究授業を通してテーマについての討議を行います

	教科	テーマ
A	国語	「読むこと」の＜対話＞性を考える
B	社会	国民のくらしと権利―憲法の視点にたった公害学習の授業づくり―
C	算数	数量認識の発達を促す授業づくり
D	理科	目に見えない現象を正しくとらえさせるために、子どもたちに何を問うか
E	音楽	なかまと歌い深める歌唱の授業―低学年の授業づくり―
F	図工	物語の絵でどの子にもつけたい力を考える
G	家庭	身近な食べ物から食を知り、食生活にいかす授業づくり
H	体育	「わかってできる力」を高める陸上運動の授業づくり―「走と跳を組み合わせた運動」を中心に―

全体会 13:30～15:30

○基調提案

○講演 折出 健二氏（愛知教育大学名誉教授）

「自立的で対話的な生き方を育てる学校づくり

～安心と共同にひらかれた学びへの転換～」



